

第726回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 大橋川改修工事〔中国地整〕

…………… 島根県松江市

- ・島根県東部から鳥取県西部を流れる斐伊川と神戸川の抜本的治水対策は、沿川に大きな洪水被害をもたらした昭和47年7月洪水を契機として、上流、中流、下流でお互いに治水機能を分担して流域全体の安全性を向上させるよう計画され、①上流部のダム建設（斐伊川及び神戸川）、②中流部の斐伊川放水路建設と斐伊川本川の改修、③下流部の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備、の3点セットで整備を実施。
- ・このうち上流2ダムおよび放水路については既に完成。残る大橋川改修については平成23年より事業を再開し、鋭意事業進捗を図っている。



2 主要地方道大社日御碕線道路災害復旧事業〔島根県〕

…………… 島根県出雲市

- ・主要地方道大社日御碕線は、出雲市内で有数の観光名所である出雲日御碕灯台や日御碕神社に至る延長約8kmの観光道路であるとともに地域住民に欠かせない生活道路である。
- ・令和6年7月9日から11日にかけて、山陰沖に停滞した梅雨前線の影響により、道路が延長約45m、幅約7m、高さ約50mにわたり海側へ崩落し、道路の通行が寸断。これにより、一時235世帯548人の住民と観光客63人、ホテル従業員21人が孤立状態となった。
- ・地形的な制約等により、一般車両の通行が可能となる仮設道路を早期に整備することは困難なため、山側の私有地を活用し、まずは、歩行者用通路を整備し、その後、緊急車両、一般車両、観光バスなどの大型車両が通行可能な仮設道路を段階的に整備した。
- ・令和7年5月に災害復旧工事に着手し、不安定となった道路上部の斜面对策は完了。現在は道路本体の復旧工事を進めており、令和9年度中の完成を目指している。



3 神門通り線都市計画街路事業〔島根県〕

…………… 島根県出雲市

- ・神門通りは、出雲大社への参詣道として国鉄大社線の開通（1912年）にあわせ整備され、沿道には歴史的建造物や旅館、土産物店が軒を連ね、多くの参拝客で賑わう門前町として栄えてきた。
- ・車社会の到来や国鉄の廃線等の影響により、歩行者の往来が減り、にぎわいが消失。出雲大社の「平成の大遷宮」を契機に地元自治体や関係団体及び地元住民が一体となって、出雲大社の門前にふさわしい風格と賑わいのある通りへの再生に取り組んだ。
- ・平成20年に商店街有志や地域住民等が中心となった「神門通り甦りの会」が結成され、ガイドマップ等の情報発信事業、日よけ暖簾等の修景事業、置き座やフラワーポット等のおもてなし事業など様々な取り組みが実施。
- ・神門通りの再整備等により平成18年に22店舗だった沿道店舗数が増え、多くの参拝客で賑わっている。
- ・平成28年度から2工区に事業着手しており、令和9年度に完成予定。
- ・なお、神門通り線都市計画街路事業は平成25年度全建賞を受賞

